

兵庫県原水協として送付した抗議・要請文

新聞報道によって貴国が去る9月15日に通算24回目となる未臨界核実験を行ったことが明らかにされた。私たちは、今回の未臨界核実験に強く抗議する。貴職は、包括的核実験禁止条約（CTBT）発効を重要課題として位置づけることを表明してきたこととも矛盾するものである。また、貴職は、昨年4月、核兵器を使用した唯一の国としての「道義的責任」にふれ、「核兵器のない世界」のための行動を呼びかけたが、その責任に逆行する暴挙である。今年5月に行われたNPT再検討会議では、「核兵器のない世界の平和と安全を達成する」ことを目標とする最終文書が採択されたが、これには貴国も賛成した。また、同会議は、2000年NPT再検討会議最終文書で合意された「核兵器の完全廃絶を実現するという核兵器国の明確な約束」が再確認されたが、これも貴国が賛成しているものである。今、「核兵器のない世界」にむけた「枠組みづくり」がはじまっている最中だけに、許されない暴挙と言わねばならない。私たちは、広島、長崎の惨禍を体験し、原水爆禁止を一貫して求めてきた国民として、未臨界核実験を含むいっさいの核兵器実験・開発計画を即時中止するとともに、核兵器廃絶条約の協議開始などのイニシアチブを発揮することを強く求める。

日本政府あて抗議文 略

* 日本政府にも「被爆国の政府として未臨界核実験の抗議、核兵器廃絶の努力」をつくすことを重ねて要求する文書を送付しました。

抗議文・要請文の送付先

* バラク・フセイン・オバマ アメリカ合衆国大統領

東京都港区赤坂1-10-5 米大使館気付 (FAX=03-3505-1862)

* 菅直人 内閣総理大臣

東京都千代田区永田町2-3-1 首相官邸内 (FAX=03-3581-3883)

兵庫県原水協としてオバマ大統領に抗議文、日本政府に「米国に抗議せよ」の要請文を送付。10月25日（月）、28日（木）正午から1時間、抗議も含めた宣伝署名行動を行う。